

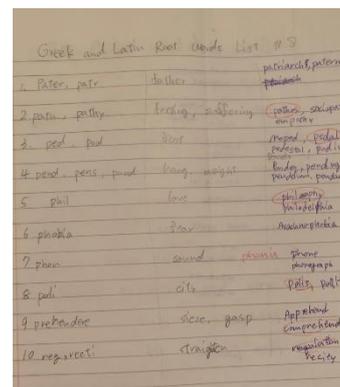
皆さんこんにちは。楠田です。

アリゾナは常夏だと思っていたのですが今週に入ってから急に朝晩が冷え込むようになりました。日中と朝晩の温度差がとても大きく、まだ慣れません。

さて、今号では授業の内容を紹介します。まずは必須科目についてです。

英語の授業は想像と最も異なっていました。日本での国語の授業のように文章を読んでそれについての解説がされるのだと予想していました。しかし、実際には文法の勉強(May be と Maybe や Sight, Site, Cite の使い分けなど)、接頭辞・接尾辞の暗記、クロスリーディングという文章の読み方の練習、思ったことを7分間書き続けるジャーナルライティング、映画や短いお話を鑑賞した後に短いエッセイを書くマイクロエッセイなど、様々な活動をしています。また、ホームルームや道徳の授業がない分を英語で補っているようで、授業中に瞑想したことや、自分の性格についての作文をしたことも印象的でした。

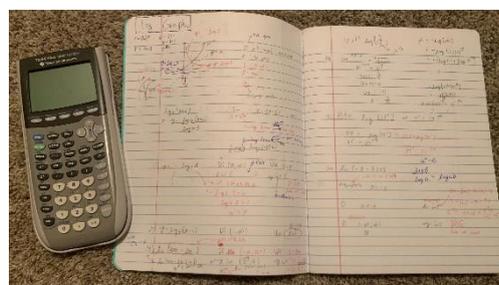
(↓) 接頭辞接尾辞のテスト範囲 (州に10個ずつのテストで



数学は Honors Pre-Calculus という科目をとっています。

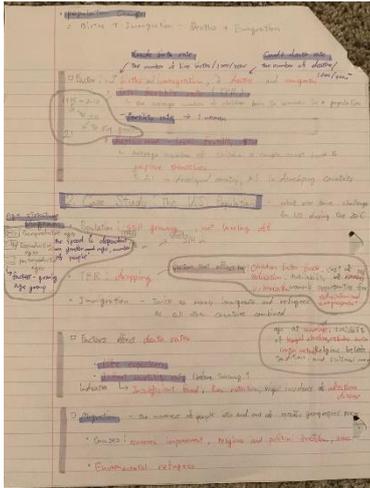
Honors というのは普通のクラスよりも進度が速く、成績の上限も高いクラスで、小石川で言うβクラスのようなものです。この授業では小石川と同じ時期に指数対数の勉強をすることができました。アメリカの数学は簡単とよく言われますが、学年によって授業が分かれているわけではないので、自分に合ったレベルの授業をとることができます。ただ、関数電卓を使うことを前提に作られていて問題の形式が全く異なっていて概念の理解ではなく計算方法を覚えることに重点が置かれていると感じました。

(↓) 数学の授業でのノートと関数電卓



世界史の授業では、ビッグバンから第二次世界大戦までを一年で学びます。基本的に先生のパワーポイントを使った説明を聞き、プリントに書き込みをしています。毎日、授業の最初に This Day In History というコーナーがあり、その日付の歴史上の出来事を習うのが面白いです。これまでに地球の誕生、類人猿、5大宗教、古代ギリシャ・アテネ・ローマについて学び、今はシルクロードについて学習しています。

(←) ホストファミリーのペットのエディと世界史の宿題 (シルクロードについての小さなポスターを作るというもの)



(↑) 環境学のノート

理科は AP Environmental Science という環境学の授業をとっています。AP とつく科目ではテストに合格すると高校に通いながら大学の単位をとることができます。こちらの環境学は生物と公民を混ぜたような内容の科目でとても面白いです。この授業は私の通っている授業の中で一番難しく、宿題も多いですが、興味深い内容で、一番好きな科目です。授業では主に実験やビデオを見ていて、基礎的な部分は宿題として勉強します。月に一度、ソクラテックセミナーというディスカッション（今月は移民とその環境に対する影響について話し合いました。）をする日とアリゾナ大学の教授が講義をしに来てくださる日があり、毎月それが楽しみです。宿題のほとんどは先生のウェブサイトに乗っているパワーポイントをもとに、ノートをとることで。今までに、環境学の概要（環境学とは何かや重要な用語の定義等）、地球環境の区分（地学で習ったリソスフェア、アセノスフェア等）や異常気象の仕組み、地球内での物質の循環（生物で習った窒素循環等）、人口とその環境に対する影響（都市化による生物の住処の分断・現象等）を習いました。次の単元は土地の利用についてだそうです。

次に選択科目について説明します。私は選択科目として心理学と体育をとっています。ほかにもダンス、ウェイトトレーニング、ファッション・インテリアデザイン、美術、スペイン語、日本語などがあります。

心理学の授業では、パワーポイントで脳の仕組みについての説明を受けたり、シナリオを読んで患者さんの脳のどこに問題があるのか考えたりしています。先生が毎回いろいろな症例を交えて解説して下さるので、とても分かりやすく面白いです。

体育では日本と似た形式の授業が行われます。水曜日は毎週ヨガの日で、金曜日は各自やりたい運動ができる日です。その他の曜日は数週間毎に違うスポーツをしています。今までにバドミントン、バレーボール、ウェイトトレーニングをしました。

このようにアメリカの学校の授業でも日本と同じように毎日新しいことを学べていて楽しいです。

10月には生活環境にはあまり変化がなかったので、（今までは時間割を変えていたのでなれるのが大変でした。）自分自身の変化がよくわかりました。今月一番成長したと思っているのは英語力です。今までは、話す前に少し迷ってしまう時間があって、それによって自分が会話の当事者ではなく、少し離れたところから客観視しているように感じていました。しかし、今月に入ってからだんだんと思ったことをそのまま口に出せるようになってきて、会話の量が増えたと、友達やホストファミリーとの距離も縮まりました。この調子で自分の成長を実感しながら留学生活を送れるよう頑張ります。



(↑) ハロウィーンの飾りつけ

最後まで読んでくださってありがとうございます。次号では放課後の部活動について紹介します。